

測量・建設コンサルタント

登録を希望する業種の内容のみ入力してください。

株式会社寝屋川設計

■評価項目

(参考) A の算出基準

A 年間平均実績高

	年間平均実績高 (千円)	数値 (A)
測量	15,000	10
建築関係建設コンサルタント	150,000	15
土木関係建設コンサルタント	1,500,000	25
地質調査		
補償関係コンサルタント	1,500	10

直前2年間の平均実績高を
入力してください。

年間平均実績高	数値
30	
100万円未満	25
100万円以上 10億円未満	20
1億円以上 5億円未満	15
1億円未満	10

B 自己資本額数値

	自己資本額 (千円)	数値 (B)	参考数値 (※1)
測量	200,000	30	1333.33
建築関係建設コンサルタント	200,000	30	1
土木関係建設コンサルタント	200,000	30	1
地質調査			
補償関係コンサルタント	200,000	30	1333.33

(参考) B の算出基準

※1	数
5以上 10未満	20
5未満	10

複数の業種で登録を希望する場合は、
自己資本額と同額をそれぞれ入力してください。

C 有資格者数

	人数 (計)	数値 (※2)	人数
測量	X欄 5 Y欄 0	25	5
建築関係建設 コンサルタント	X欄 4 Y欄 1	22	2 1
土木関係建設 コンサルタント	X欄 13 Y欄 5	75	3 5 5
地質調査	X欄 0 Y欄 0		技術士 建設部門(土質及び基礎)
補償関係 コンサルタント	Y欄 2	4	不動産鑑定士

構造設計(設備設計)一級建築士と一級建築士のどちらの資格も有している場合は、一級建築士には計上しないでください。
構造設計と設備設計のどちらも有している場合は、重複して計上してください。

構造設計 一級建築士	設備設計 一級建築士	2	一級建築士	建築設備士
二級建築士	建築積算士 (建築積算資格者)			
技術士 機械部門	技術士 電気電子部門	5	技術士 建設部門(土質含む)	技術士 農業部門
技術士 森林部門	技術士 水産部門		技術士 情報工学部門	技術士 応用理学部門(地質)
技術士 上下水道部門	技術士 APECエンジニア		技術士 総合技術監理部門(地質を除く)	
一級土木施工 管理技士	環境計量士		第一種電気 主任技術士	第一種伝送交換 主任技術者
線路 主任技術者	RCCM			
技術士 建設部門(土質及び基礎)	技術士 応用理学部門(地質)		技術士 総合技術監理部門(地質)	
地質調査技士				
不動産鑑定士	2	土地家屋調査士	司法書士	補償業務管理士

D 営業年数数値

営業年数	40	年	数値 (D)
			30

不動産鑑定士、土地家屋調査士、司法書士の資格を有している場合は、登録証又は
証明書を提出してください。(2人以上所属している場合は、1人のみについて提出)

技術士、環境計量士、RCCM、地質調査技士、補償業務管理士(総合補償士)につい
て、1人で2部門以上の資格を有している場合は、重複して計上してください。

技術士については業種ごとに計上してください。

【例】技術士の建設部門(土質及び基礎)を有している場合

→土木関係建設コンサルタントと地質調査のそれぞれに1を計上

■総合数値の算出方法 (A × 3) + B + (C × 5) + D の数値

	A	B	C	D	総合数値
測量	10	30	15	30	165
建築関係建設コンサルタント	15	30	15	30	180
土木関係建設コンサルタント	25	30	25	30	260
地質調査			10	30	
補償関係コンサルタント	10	30	10	30	140